

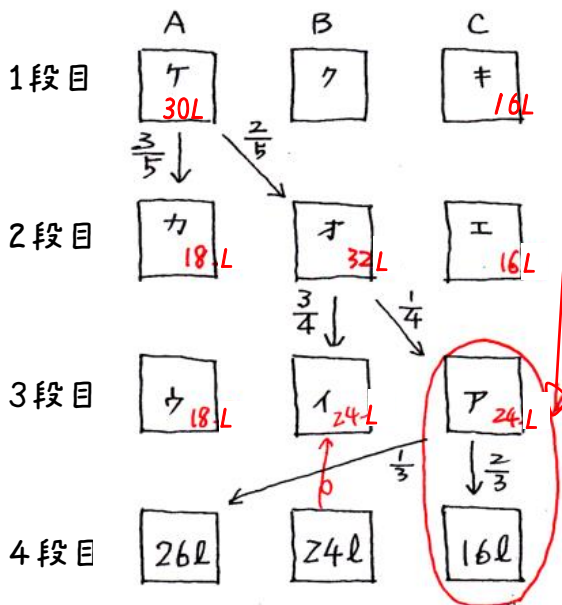
[2]相当算・還元算 P9-6

6 A, B, Cの3つの水そうがあります。Aの水の $\frac{2}{5}$ をBに移し、次にBの水の $\frac{1}{4}$ をCに移し、最後にCの水の $\frac{1}{3}$ をAに移したところ、Aは26L、Bは24L、Cは16Lになりました。はじめ、A, B, Cには何Lの水が入っていましたか。

最後に26L, 24L, 16Lになったということは、水の合計は $26+24+16=66(L)$ だった。

下から上に割合の第3用法を使ってさかのぼっていきます。

各段の和は66L



ここからスタート

・アの $\frac{2}{3}$ が16Lより、 $16 \div \frac{2}{3} = 24(L) \dots \text{ア}$

・Bの3段目と4段目は動きがありませんから
 $\text{イ} = 24(L)$

・ウは、各段の和は66Lより、
 $66 - (24 + 24) = 18(L) \dots \text{ウ}$

・ウとカは動きがありませんから $\text{カ} = 18L$

・オの $\frac{3}{4}$ が24L(イ)ですから、

オは $24 \div \frac{3}{4} = 32(L)$

・エは $66 - (18 + 32) = 16(L)$

次に1段目を考えます。

キは16Lと分かります。⇒C

ケの $\frac{3}{5}$ が18Lですから $18 \div \frac{3}{5} = 30L \Rightarrow \text{A}$

ク(B)は、 $66 - (16 + 30) = 20L \Rightarrow \text{B}$

A...30L B...20L C...16L